

## バイオアセンブラ第10回公開シンポジウム

日時: 2016年3月22日(火曜) 13時~17時

場所: 東京大学 生産技術研究所 コンベンションホール(A棟)

<https://www.iis.u-tokyo.ac.jp/access/campusmap.html>

申込み先: [contact@bio-asm.jp](mailto:contact@bio-asm.jp)

(氏名・ご所属・ご連絡先をお知らせくださいませ。)

参加費: 無料

文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究「超高速バイオアセンブラ」(略称: バイオアセンブラ, 領域番号: 2305)では, マイクロ・ナノロボティクスを基盤として, in vitro 環境で機能する3次元細胞システムを構築する「バイオアセンブラ」の超高速計測操作手法と組織機能発現の原理の解明を目指しています. 昨年度より, 新たに研究項目「B01:組織構築と機能発現」を加え, さらなる研究領域の拡充を図り, 研究成果もまとめてまいりました. つきましては, 本領域の活動をご紹介するバイオアセンブラ第10回シンポジウムを開催いたします. ご興味ある方は, お誘いあわせの上是非ご参加いただければ幸いに存じます.

領域代表 大阪大学大学院基礎工学研究科 新井健生

### 【プログラム】(敬称略)

13:00-13:10 領域代表挨拶 大阪大学 教授 新井健生

13:10-14:00 特別講演1 東京大学 教授 下山 勲

「ピエゾ抵抗型微小力センサを用いた液滴・細胞計測」

14:00-14:50 特別講演2 東京大学 講師 山本希美子

「血管のメカノバイロロジー」

14:50-15:00 休憩

15:00-15:30 A01班 まとめと報告 名古屋大学 教授 新井史人

15:30-16:00 A02班 まとめと報告 大阪大学 教授 新井健生

16:00-16:30 A03班 まとめと報告 東京女子医科大 教授 大和雅之

16:30-17:00 B01班 まとめと総括 大阪大学 教授 新井健生

## ◆特別講演 講演者ご略歴◆

特別講演1 下山 勲 教授

ご所属: 東京大学 大学院 情報理工学系研究科 知能機械情報学専攻

## ・ 研究トピックス

- ・ 少子高齢社会の支援を目的としたロボットおよび触覚センサ等その要素技術研究
- ・ ピエゾ抵抗効果を利用した微小力センサの研究

1977年 東京大学 工学部 機械工学科 卒業  
1979年 東京大学 大学院 工学系研究科 機械工学専攻修士課程 修了  
1982年 東京大学 大学院 工学系研究科 機械工学専攻博士課程 修了・工学博士  
1982年 東京大学 工学部 機械工学科 講師  
1983年 東京大学 工学部 機械工学科 助教授  
1986年 米国カーネギーメロン大学 客員助教授(1987年8月まで)  
1995年 東京大学 工学系研究科 機械情報工学専攻 助教授  
1998年 東京大学 大学院 工学系研究科 機械情報工学専攻 教授  
2001年～ 東京大学 大学院 情報理工学系研究科 知能機械情報学専攻 教授  
2007年 東京大学 大学院 情報理工学系研究科 研究科長(2010年3月まで)  
2008年～ 東京大学IRT研究機構 機構長  
2011年～ タッチエンス株式会社 社外取締役(東京大学発ベンチャに対しての兼業許可)

特別講演2 山本 希美子 講師

ご所属: 東京大学大学院 医学系研究科 医用生体工学講座

## ・ 研究トピックス

- ・ 血管内皮の血流センシングとメカトランスダクション機構
- ・ 血流刺激が及ぼす循環機能調節と血管病の発生機序
- ・ 力学的刺激に伴う幹細胞の分化誘導

1987年 早稲田大学理工学部 卒業  
1989年 早稲田大学大学院理工学研究科 修士課程 修了  
1989年 デュポンジャパン中央技術研究所 研究員  
1996年 山形大学大学院工学研究科 博士課程 修了(工学博士)  
1997年 日本学術振興会特別研究員  
2000年 東京大学大学院医学系研究科 博士課程 修了(医学博士)  
2000年 東京大学大学院医学系研究科 医用生体工学講座 助手  
2003年～ 東京大学大学院医学系研究科 医用生体工学講座 講師  
2006年～ 科学技術振興機構 戦略的創造事業 さきがけ研究員 (兼任)